



うさぎさんの不妊手術（避妊・去勢）について

Q. 不妊手術は必要？

A. 手術をすることで防げる病気や問題行動があります。特に子宮・卵巣は、症状が認められた時には緊急の外科治療を必要とする場合も多く、高齢になってからの手術はリスクも大きくなります。将来的に発症が考えられる疾患を予防するために、不妊手術は有用と考えられます。メリット、デメリットを理解し、ご家族皆様が納得された上で選択されることをお勧めします。

メリットとデメリット

☆メリット☆

- ・望まない妊娠の回避
- ・ホルモン関連の問題行動（スプレー、けんか、攻撃性など）の軽減
- ・生殖器関連の疾患の予防、リスクの低減
（♀）子宮内膜炎、子宮腺癌、子宮水腫、卵巣嚢胞、乳腺腫瘍など
（♂）精巣腫瘍、鼠径ヘルニアなど

★デメリット★

- ・全身麻酔をかけるリスク
- ・太りやすくなる
- ・手術、入院のストレス
- ・換毛周期の変化
- ・合併症のリスク（感染症、縫合糸反応性肉芽腫）
- ・術後の一時的な腫脹など

Q. 手術の費用は？

A. ♂：去勢手術料 ¥26,000+術前検査（血液検査・レントゲン）¥10,100 = ¥36,100
♀：避妊手術料 ¥35,000+術前検査（血液検査・レントゲン）¥10,100 = ¥45,100

※エリザベスカラーが必要な場合は、カラー代¥1,200を頂きます。

また病巣が見つかった場合や、追加検査が必要な場合など、別途費用が発生することがあります。

Q. どのくらい入院が必要？

A. 基本的には1泊入院（手術日の午前中に入院、翌日退院）です。
ご希望に応じて日帰りで退院の場合もございます。入院中はご面会も可能です。

Q. 適正時期は？

A. 一般的に、生後半年から実施可能です。品種や体格、性別によって推奨時期が変わりますのでご相談ください。

※当資料の無断転載、複写はご遠慮ください

～手術の流れ～

事前の診察で、手術についての詳しい説明、日程の相談をします。



手術当日、体調チェックをしてお預かりし、血液検査、胸部レントゲン検査を行います。
入院、手術の同意書にご署名を頂きます。



注射で麻酔薬、鎮痛薬を投与し、吸入マスクまたは気道確保をして麻酔を維持します。薬剤投与や点滴のため、血管確保をします。

手術部位の毛刈り、消毒をし、いよいよ手術です。避妊手術♀では卵巣・子宮を摘出、去勢手術♂では精巣を摘出します。麻酔中は心拍数や呼吸などを常にモニタリングします。



手術が終了し、麻酔から覚めたら入院室へ。その日からいつも通りごはんも食べられます。



翌日（場合によっては当日）、退院です。手術の様子、術後のケアについてお伝えします。自宅では処方された内服薬を飲ませてあげてください。



1週間程度で抜糸をします。



1ヶ月後に定期検診、体重測定をおすすめします。手術後はペレットの量を調節して、肥満を予防しましょう。